

人夫出しの儲け

酔っぱらって書き送ったとはいえ、おかしくな文章がそのまま、流世に載ってしまつた。やけくそついでに人夫出しの儲けについて、今少し考えてみたい。

紀州産業が五五〇〇円の頃、これはええ儲けだと思つて行つた事があるが、思ひついでとらんと、行きの電車賃もついでとらなんだ。

飯場におかえにきたオヤジが、「あんたらに七千円も払つては合めんが、いそがしい時はしやあない」とぼやいていた。このオヤジサンのボヤキが本當だとすると、土方さんの送りおかえなしの複利は七千円という事になる。

本組へ行つた時も、土方は七千円、鉄筋手元は八千五百円を出している」と聞いたことがある。四千五百円の土方さんからも、六千五百円から七千円はでるだろうと聞いた事がある。

土方正機隊で七千円、というのはいつの相場であるらしい。それが四千五百円、四千七五百円という「流」の出る様な低賃金に化けるのは、それぞれもこれも皆んな人夫出しの屋のお陰です」と言わざるを得ない。

わくわく、やつに赤梅は好きやない。

しかし、それがたなびかざるを得ないほど人夫出しの収奪がはげしい事は認めざるを得ない。

それを計っているオカシの店員があることも認めざるを得ない。

話は先にもいふが、紀州産業の頃、七千円引く五千五百円、残り千五百円が「やけくそ」になる。ここは三十人位しか抱えていないので、一日四万五千円、月間二十五日で百十二万五千円が粗利益になる。これに電賃が付け加へられる。

夫婦二人、ライトバン二台、電話二台の常売としては上等である。

泣かされるのは「アンツさん」である。釜にはワルが揃つていろのかもくらんが、ワルの上をいくワルが人夫出し屋さんである。

先きに、宮本鉄筋が出して百七千五百円と書き送つたが、この場合、宮本鉄筋工業の敷地と飯場を借りつけた、もと道順の矢野一さんが、身内の宮本鉄筋、宮本鉄筋工業、宮本建設工業に出している更地で、一般性がなからボツにしてくれと頼んだのにそのまま買つてしまつた。責任上、事実関係だけ言わしてくれ。

工務店でもないのに白川工務店という名の人夫出しは新大阪にマンションを構へていろどうだ、大正のケタオチ代表、中山建設も只今自分とこの駐車場に横に大きなビルを建設中であります。但し、飯場の食堂には椅子はありません。印刷代は六〇円でした。

一五〇円の「わ」また「き」だといつても、普通世間の人には他でともらえないかもしれないが、これがまか

り通っているのが日本、西成・谷ヶ崎です。
「見せてくれた人々といえども」

やはり、おはけはいいし

笠野安野

華僑と出て居るは、きりした例を二つ三つ。
や石津川の清水知理館に、神明工務店から所帯大工さん
が一萬一千円で行ったところ、神明の上のソナビの壁が
が壊れて、一萬五千円フンパツしたんやからと、と社
張ってくれよ。元結は唐島建設。
本島前を聞きもらした早人夫出くは、得金先の一ツに山
口組の船があり、いつも出て行く船を押えられていた。
飯俣大工が八千と九千円の時は一萬円だったとつた。
ところが、どうしてでも九千円では人が得ない。
仕方なくその船は急ぎよ一萬円にして人を集め、後から
乗船で泣きついてようやく出て行くと一萬一千円にこそ
なったという。
中山から南港に木を植えるにいった人は植木屋の親元に
こつたといわれた。
「あんた、五千円で買てうかも知らんけど、ワシヤセ
千五百円払うところ。だから一本三〇円として二五〇本は
植えてもらわねえ。そのかわり二五〇本以上について
は一本三〇円の割で薪をつけるわ」
ヤセと無事に地下足袋をはいて歩いて行くと、御親り屋
のお客に会って、「お、おやめたんか、それやったらう
ちにこい、七千五百円やで、仕事は老人仕事で自體のた
めにはええぞ。」

(ヤ)

人夫出の屋は

仲仲起可ですか？

人夫出くとよく似た言葉に、御理所紹介所とか、クリ
ーニング職人、理髪師、ファッションモデル等の紹介
所がある。これらで言ってもこれは仲仲大工の認可がある。仲
仲なら仲仲、建設なら建設、大臣の認可がある。
いまだかつて仲仲()とかかかれた人夫出の屋は、一
度とてみた事がない。ビールを二五〇円で買わされた
覚えは多くあっても、飲食店の許可証があるのはみた事
がない。
まさか人夫出の屋が建設業と見なぬか、この建設業
の許可証さえも見たことない。もしこれだけの許可証が
あるのなら表看板にかかっている。
仲仲もとりーニング屋だった。それで、このヤセのスウ
ズ紹介所(後の人夫出)に、()の事を聞いてみる。
「もうろん仲仲大工の認可がある、無許可で営業して捕
まされ、一船罰金にどの記事が載ったことあるか。
人手が足りないかの事だ。たりないから入ケットに行っ
て、労働職人が日給八千円とすると、スウズは仕事が無
いから一萬一千円とすると往復の運賃を現金でもらう。
建設屋の許可証、建設所の三食は自分たちで食べてるこ
う。仲仲も起す出さ。」
但し、職人、中途工は所属する紹介所に賃金の一割を
取られる。ピンハネ一割が合法かどうか、建設業の自
体は認可があるが、これが相場である。
事業主側は大工より高い賃金を払って働かせる。

新聞切り抜き

死亡

身「花田部」名義の診断書を持った三〇と四〇
オの男の人。茶之屋一丁目の路上で背中を刺
され死亡。(名、姓)

又、本市大字佐保、通稱天坂の田んぼの野山屋から出火
一、六五メートルぐらゐの中、三五と三六オ、ネズ
ミ色作業着の男の人焼死。(名、姓、年)

又、四日午後一時ごろ、花園北一丁目の道路工事現場の
作業員たまり地付近で、中年の男の人が死んでいるの
を警々崎キリスト教婦人會のパトロール隊がみつ
け、西成署に届け(名、姓、年)

又、西成センター西側路上で労働者月士がケンカ、住所不
定、花田マキウさん(三〇、四〇オ)、果物ナイフで
胸を刺され、出血多量で死亡。刺した者花田さんけ逃去。
住所不定、田んぼの山屋さん(三三)は捕まる(名、姓)
花田さんは、良助さんら四と五人とセンター近くの路
上、ウイスキーを飲んでいたが、飲み終わったあと、良
助さんと二人で別の所に飲みに行こうと出掛けると途
中、花田さんが路上にいた人をけとばしたといい、西成
署はけとばされた男が誰かをたてて刺したとみている。花
田、良助さんと捕まえたのは土木作業員の良助さん
(名、姓)

又、日下橋四丁、アルドールが押し倒れたブロン

グイの下敷になつて石川屋敷町出身、住所不定、堀ノ
内建設作業員(日)の住人、良助さん(三三)
死亡。ブルを運搬していた堀ノ内建設作業員へ襲撃され
、良助さん(三三)は、たろくなくなつて死体を工場建設の基
礎掘り起して跡の穴に埋めたが、九日、堀ノ内建設社長
につきせられて自害。(名、姓、年)

又、西成福祉事務所前、今年に入つて二月一五日までの
行方不明は一人。(名、姓、年)

又、二五才前後、一、六二メートル、紺のジーンズにグ
ラフの作業着、スポーツシューズの男性、国鉄建設
現場(宮崎外回りホーム西側)で、夏季に暴行された即死。
(名、姓、年)

又、神戸市・砂利採取業、甲隆産業会社、の砂利採取現場
で、淡路地南側の作業用道路になつていて堤防部分が長
さ二五メートルにわたつて決壊、土砂混じりの濁水が一
つ配管四五度の急斜面を伝ひ山津波状態になつて流出、
約三〇メートル下の山田川に流れ込んだ。

約二キロ下流の川底で上り階段の架け替え工事をして
いた新井組(本社、兵庫県西宮市池田町)の下請け、垂
水区西宮五の丸の二、松本組の作業員七人のうち、
右岸付近で基礎工事中の熊本県生まれ、松坂実さん(五三)
と大分県生まれ、下田務さん(五三)の二人が溺死にのまれ、
まれ、溺されて死亡。(名、姓、年)

二人は事故にあった日の朝、神戸新聞社の通社バスに
乗車から、手配師の口ききで雇われた。(名、姓、年)

